

【立川談志と橘ノ圓】

「談志師匠とは仲良かったんですか？」

と私が聞くと圓師匠は、

「お互いがお互いの事を“変わり者”だと思ってたな」

「世間的には毒舌で売ってたから悪口言う人も多いけど、あんな良い奴はいなかったんだよ」

と写真に目を落として話し始める。

「上野で俺と一緒に呑んだ帰りに、道端の乞食に向かって

“バカ野郎！若い時まともな仕事しねえから今そんな風にしてなくちゃいけねえんだぞバカッ！”

と言って通り過ぎたと思ったら談志が横にいないんだよ。振り返ると談志が自分のポケットにあった金握りしめて“これで何か温かいもんでも食え”って乞食に渡してるんだよ」

「俺はヤツのそんな顔を知ってるから談志の悪口言う奴には怒り狂った時期があったよ」と述懐する。

写真左は圓師匠が東京千駄木に住んでいた頃、向かいに住んでいた“安来節（やすぎぶし）手品”で知られる日本奇術協会副会長のダーク大和氏。

取材・文：東西竜虎会世話人 高巢昌信

『上方百撰』 <http://www.manhole.jp/kamigata>

